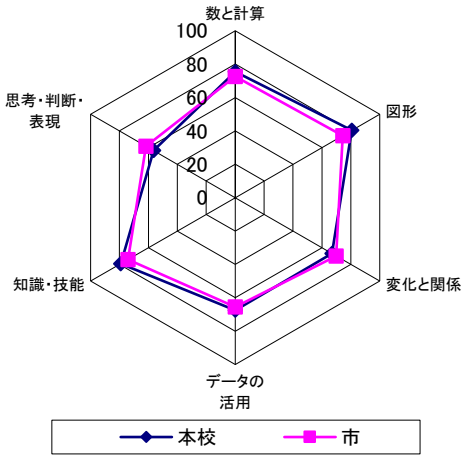


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	75.5	72.6	71.6
	図形	80.6	74.4	72.0
	変化と関係	67.0	69.8	62.6
	データの活用	67.5	65.5	59.1
観点別	知識・技能	79.1	74.1	68.9
	思考・判断・表現	56.4	61.6	63.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、市の平均を3ポイント上回っている。 ○計算問題の正答率は80%を上回り、特に分数のかけ算やわり算の正答率は100%だった。 ●図を使って文章題に合った式を選ぶ問題や、面積の公式において、底辺と高さの関係性を文字の式で表す問題の正答率は45%だった。	・引き続き朝の学習などで、基礎基本の徹底を図る。 ・授業において、図と式、文章と式を関連付けて記述する経験を積ませる。
図形	平均正答率は、市の平均を6ポイント上回っている。 ○合同な三角形の作図の正答率は、90%だった。 ●正八角形の内角の和を求める問題の正答率は45%だった。	・多角形の内角を求める問題では、三角形の内角の和を活用して求めているため、練習問題などで補っていく。 ・問題をよく読み、図に答えを導く手掛かりとなる数字や補助線を入れていく習慣をつける。
変化と関係	平均正答率は、市の平均を2ポイント下回っている。 ○●平均や混み具合、速さの問題では、解答選択式問題の正答率は70%～85%だったが、解答記述式問題では40%に留まり、無回答の児童は4割を超えていた。	・単位量あたりの大きさについては、5年生の復習を十分に行い、比較量・基準量・割合の関係や、平均の求め方をしっかりと理解させる。 ・授業の中で、順序立った説明の仕方や、根拠を挙げて理由を述べる方法などを指導していく。
データの活用	平均正答率は、市の平均を2ポイント上回っている。 ○度数分布表については、正答率が100%であり、データの見方に関する問題の正答率は市の平均を上回るものもあった。 ●グラフの読み取りと割合を関連させた問題では、正答率は40%だった。	・円グラフや帯グラフなど、割合と関連のあるグラフの読み取りについて復習を行う。